

同窓生だより



放課後子ども教室は、子ども達の放課後の安心・安全な居場所づくりのことで、今回、市の教育委員会より以前から活動中の北小わくわくクラブをNPO行田市民大学活動センターでと依頼がありました。早速、NPOの理事

子育て真最中の頃、運動不足を感じて始めたランニング。シューズがあれば、いつでもどこでもできるから。大会デビューは鉄剣マラソン。徐々に距離や記録が伸びていくのが楽しかった。子育ても一段落した頃、行田走友会に入会。それからランニングの世界が一気に広がりました。学生みたいに着宿もやります。雄大な富士山を眺めながら河



仲間と走る楽しさ実感!

村松 尚子氏 (1期生)



村松さん

六年前、友好都市十五周年を記念し、白河く行田く桑名までの六四〇

kmを、そして二十周年を迎えた昨年、日本橋く行田く白河までの二四〇kmを三市のランナーで襷リレーしたことは、忘れられない思い出です。一人で始めたランニング。足を骨折したり、故障に悩まされた時も、仲間との支えと励ましが力になりました。今、こうして走れることに、素晴らしい仲間に出会えたことに心から感謝します。

放課後子ども教室 北小わくわくクラブ 取り組みについて

金原 二郎氏 (2期生)



間活動プラン作成について、基本は前年を踏襲しました。今後も未来ある子ども達のために更なる安心・安全な居場所づくりを目指していきます。

す。まともに孫と遊んだことがないおじさん・おばさんスタッフなので、当初はどう進めて追加できたのは我々スタッフの人数があつたからこそです。ドッチボールなどのスポーツプランと集中が必要な体験型プランなどメリハリの利いた活動内容を実施しています。

公共交通機関を使って県内の史跡を散策

ブラたび

私達のクラブは、七期グループ研究のメンバーが卒業と同時に「折角の出会いを大切に」ということで発足したものです。当初八名のスタートでしたが、七期女子会の口コミや、八期生の加入もあり、現在二十二名となりました。クラブの名前は、NHKの番組【ブラタモリ】から一部戴いたものです。二カ月に一回程度、主に県内の史跡等を散策しています。特に気をつけているのは、高齢者も多いことから、なるべく公共交通機関を利用



越谷宿にて

じこもらないようにと体に負担のかからない程度の活動を組んでいます。今年初の活動は、越谷宿の散策でした。越谷宿は江戸時代に整備された奥州街道および日光街道の宿場町の一つです。大寒の入りの一月二十日(日)でしたが心配された寒さもなく、街並みの他に「こしがや能楽堂」の内部も見学でき貴重な一日でした。これからも世間が狭くならないように仲良く活動を続けたいと思います。なお、ブラたびでは、活動結果を行田市民大学同窓会のホームページに掲載して紹介します。尾畑宜成(七期生)

クラブ活動紹介



八期生、歴史文化B班のメンバーは男三名・女二名で市民大学終了後も引き続き活動を継続させて行こうとの合意のもとに、【歴史文化自然探索の会】として行田市民大学同窓会のクラブに登録して活動を始めました。平成三十年は、昨年度の群馬県史跡巡りとした太田市の金山城跡、世良田東照宮及びグルメ巡りの続編として、小野塚会長の計画立案で群馬県の城址の一つである甘楽町小幡を訪問しました。十一月六日の当日は、小雨模様でしたが高速道路を利用して富岡インター経



グループメンバー

由で小幡道の駅まで直行しました。長岡記念ギャラリーでCAFÉし、楽山園は雨が降ってきたために散策で済ませて、小幡の城下町としての風情が残る街並みを見学した後に織田家の菩提寺である崇福寺へ行きました。その後、蕎麦が美味しいとのことで那須庵へ向かいましたが、かなり遠くて違う山道に迷い込んで進めなくなり、たまたま通り掛り

の方に助けていただくと同時に、那須庵は定休日と教えていただき、あきらめて小幡へ戻りました。小幡道の駅に戻り、楽しみしていた蕎麦ではなくて、寒い日には、おいしい煮込みうどん定食で昼食を済ませて、次の見学予定地の吉井町多胡碑記念館へ向かいました。帰路では、お土産物を買うために、【らん藤岡】へ寄り休まして無事に行田へ帰りました。歴史文化自然探索の会では、この様な活動を年間に数回は全員参加で計画して行い予定を立てるとともに、又長く続く活動をしたかと思えます。為ヶ井静民(八期生)

クリスマス演奏会



女性歌手&演奏メンバーとイタリア人男性歌手

十二月二十日(木)「みらいホール」で行田市民大学クリスマスコンサートが開催され、市民大学関係者と市民の皆様で満員でした。舞台はクリスマスの雰囲気いっぱいには飾られ、第一部では、第九の第4楽章を合唱の他、五曲が演奏されました。第二部では、イタリア男性歌手の帰れソレントを歌う姿は凛々しい感じでした。また、女性歌手による懐

ボウリング大会



ボウリング大会に参加したみなさん

八月二十一日(火)、北鴻巣ラウンド・ワンにて行田市民大学同窓会ボウリング大会が開催され十八名が参加しました。昔とった杵柄と思ってもゲームが進むにつれて段々とボウルが重く感じてきます。得点上位者には特別賞と参加者全員に参加賞が贈られました。翌日は筋肉痛でしたが、楽しいひと時を過ごすことができました。茂木(記)



パークゴルフ発足式

編集後記

平成も終わりが近づき、行田市民大学も十周年を迎えました。新しい年号への期待に重ねて広報委員会もますます活躍できるように日々「笑い」「楽しみ」を見つながら活動していきたいと思えます。土屋真理子(記)

広報交流委員会 編集委員

- 茂木幸蔵 田村 勲
- 道場信昌 土屋真理子
- 池田裕信 為ヶ井静民
- 木暮 要 田名網源一